

# 村報 筑北

第39号

平成24年3月16日発行

編集 筑北村総務課  
〒399-7601

長野県東筑摩郡筑北村坂北 2187 番地

電話 0263-66-2211

FAX 0263-66-3656

ホームページ

<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

## 筑北村の人口

総人口	5,336 人
男	2,597 人
女	2,739 人
戸数	1,975 戸

(平成24年2月29日現在)

## 第一次筑北村総合計画 後期基本計画案答申へ

去る1月26日、坂井公民館において総合計画審議会が開催され、村長から諮問されていた、平成24年度から平成28年度までの総合計画後期基本計画（案）について答申を行いました。

答申では人口増加対策・高齢者福祉の充実・子育て支援体制の整備など実現可能な施策の充実や、厳しい財政状況や施策を住民と共有し協働できる体制を推進することを求めています。

後期基本計画は、村議会で議決された後に、幅広くご意見をいただいたパブリックコメントと合わせ公表されます。



滝澤会長から村長へ手渡される答申書

なお、村では基本計画の内容をわかりやすくまとめた概要版を全戸配布することになっています。

## 【お問い合わせ先】

総務課 電話66-2211

## 国道403号安曇野市側の改良を要望しました

去る2月17日、国道403号安曇野市内（名九鬼く山中）区間の改良を安曇野市長と県安曇野建設事務所長に要望しました。

村から改良を要望したのは、国道403号安曇野市明科側で矢越防災事業として着工した、仮称「新矢越トンネル」の整備区間の終点から国道19号側へ、延長約4kmの区間です。

筑北地域の生活道路である国道403号ですが、現在は、道路幅が狭く対向車の確認が困難な箇所が多い、急なカーブが連続している箇所がある、などと



矢越防災事業 終点付近

いった状況です。

将来、「新矢越トンネル」が供用開始になると、交通に支障があるばかりか、事故の発生が危惧され、引き続き道路改良が必要な区間と考えています。

地元の安曇野市長には積極的な県への働きかけを、道路管理者である安曇野建設事務所長には、早期に調査を行い、事業化されることを要望しました。

○安曇野市長への要望



**平成24年度から  
介護保険料がかわります**

介護保険を健全に運営するために、介護保険を運営する各市町村等では3年ごとに事業計画の見直しを行っています。今年度は、第4期介護保険事業計画の最後の年なので計画の見直しを行いました。

介護保険施設の増加や介護報酬単価の改正による給付費の増加、介護保険法の改正による被保険者の負担割合の変更の影響などが見込まれるため、平成24～26年度の介護保険料が引き上げになります。

保険料の金額は村3月議会にて条例改正され正式に決まりますが、基準の第4段階で年額56,400円（月額4,700円）になる予定です。この額を基準に前年度の所得に応じて収めていただく保険料が決まります。保険料の詳細については議会議決後に再度お知らせいたします。制度の健全な運営のため、保険料の納付にご協力をお願いします。

**介護保険料の決め方（概要）**

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{65歳以上の} \\ \text{被保険者の} \\ \text{保険料基準額} \\ \text{(年額)} \end{array}} = \frac{\left[ \begin{array}{c} \text{平成24～26年度(3年間)} \\ \text{の保険給付見込額} \end{array} \right] \times 21\%}{\text{65歳以上の被保険者の人数}} \div 3\text{年}$$

(注) 上の計算方法は概要です。実際の算定には「被保険者の所得段階別加入割合」、「財政調整交付金の見込み額」、「介護保険支払準備基金の取り崩し額」等の要素も関係します。

■住民福祉課 福祉係

電話 66-2111

**すべてに大切な水 雑排水・し尿の水洗化にご協力をお願いします**

家庭から出る汚れた水（一人1日約200ℓ）をきれいにするため、集落排水施設の充実と合併浄化槽の設置を推進しています。現在、利用者は1,662世帯（公共施設等を含む）で、村総世帯の78%となっていますが、近隣の麻績村81%、朝日村94%、山形村93%と比較しても水洗化率が低迷している状況です。また、施設は整備されているものの使用されている世帯が少ないため、施設の維持管理における財政負担が大きなものになっています。

**まだ整備されていないご家庭におかれましては、一日も早い水洗化にご協力をお願いいたします。**

○**下水道を大切に**

集落排水施設ではたくさんの汚水を処理していますが、排水管や中継ポンプに異物が詰まる故障が頻繁に発生しています。タオル・おむつ・危険物など流さないように注意しましょう。

○**合併浄化槽設置を希望される方へ**

平成24年度に合併浄化槽の設置を希望される方は、5月末までに役場へご連絡ください。

○**合併浄化槽の休止について**

使用者の都合により合併浄化槽の使用を休止される方は、役場へご連絡ください。休止する場合は、汚泥の抜き取り（浄化槽の状況に応じて）や、プロワー（浄化槽に空気を送る装置）の稼働をお願いすることがあります。

○**水道の使用量が多いと感じたら**

下水・浄化槽使用料は水道の使用量により料金を徴収しています。水道の使用量が多いと感じたら、水道の蛇口を全部閉めメーターボックス内のメーターのパイロット（指針下の銀色の八角形の印）が回っていたら、敷地内の給水管のどこかで漏水しています。

早急に村指定業者に修理を依頼し、役場へご連絡ください。修理費用は自己負担となります。

【お申し込み・お問い合わせ】 建設課 上下水道係（電話66-2111）

## 坂井ゆうきセンターから堆肥販売のお知らせ

日頃、坂井ゆうきセンターの堆肥をご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
村内在住の方につきましては、次の販売価格にてご購入いただけます。

販売単位	販売価格	要件
小袋（28リットル）1袋	230円	坂井ゆうきセンターから直接購入の場合
軽トラック 1台	2,625円	
2tトラック 1台	6,300円	

小袋の堆肥につきましては、他の販売所でのご購入になりますと販売価格が違ってきますのでご了承ください。また、坂井ゆうきセンターに堆肥（小袋を含む）のご注文をいただければ、ご希望により村内の方には、ご自宅まで無料で配達いたします。ただし、注文等の状況で配達に時間がかかる場合もありますので、余裕を持ってご注文いただきますようお願いいたします。



〈連絡先〉坂井ゆうきセンター（電話67-3582）

### 筑北ミュージックフェスティバル

2012開催決定!!

筑北ミュージックフェスティバル2012実行委員会では、「自由」「仲間」「面白い」をコンセプトに、住民有志が集まり様々な発想を取り入れ、誰もが楽しめるイベントを開催します。

コンセプトについて

#### 「自由」

自由な発想・参加・楽しみ・取組みなど、意味は人それぞれですが、住民有志のイベントならではの特色を「自由」という言葉にこめていきます。

#### 「仲間」

昔はこどもから大人まで「仲間」として協力してきました。昔ながらのこの地域の良さを引き出したいという願いがこめられています。

#### 「面白い」

「面白い」を主催者も参加者も共有してこそ意味があると考えています。難しい「活性化」ということではなく、面白ければ自然に元気で活性化します。

この筑北ミュージックフェスティバルは、「自由」「仲間」「面白い」を感じることが出来るイベントで、誰でも気軽に楽しめます。音楽を中心としたイベントではなく、気がつくとも音楽が流れていた、という感じですよ。こんなイベントを開催しますのでぜひ大勢で誘い合って遊びに来てください。

日程 平成24年（2012年）

5月5日（土） 11時開始

5月6日（日） 15時終了

場所 とくら沢ふれあい広場

### 内容

音楽演奏  
発想豊かな屋台  
大人も子供も楽しめるクラフト体験など  
自然体験  
プロミュージシャンによる楽器遊び

#### 【お問い合わせ】

村づくり推進室

電話66-2211



【お問い合わせ先】  
住民福祉課 福祉係

電話 66-2111

この4月から、温泉施設入浴優待日「憩いの日」の実施曜日が「月曜日」（第一月曜日及び第三月曜日）に変更になります。日程につきましては、平成24年度版の筑北村生活カレンダー（別に配布されます）をご覧ください。  
大勢の皆様のご利用をお待ちしております。

「憩いの日」実施曜日が、  
『月曜日』に変わります。

高齢者・障害者入浴優待日  
「憩いの日」変更について

今回のテーマ **がん検診・精密検査の受診をお願いします。**

健康  
ほっと  
情報

『がん予防講演会から』

2月22日に行われた、県伊那保健福祉事務所 寺井直樹所長の講演「最近のがん検診とその予防について」の内容です。

「全国・県では、がん死亡が第1位、筑北村では第2位を占めています。」

国民の3人に1人はがんで死亡、2人に1人はがんになる現代ですが、がん検診の受診は日本では対象者の2割未満なのに對して、欧米では約3倍の約7割が受けています。

日本は健康保険制度が整備され、がんになっても経済的不安が少なく、体に不調を感じても受診時期が遅れて症状が重くなりがちと思われます。

欧米では自主的・定期的な検診で早期に発見・治療されるため、医療費も少ないようです。

自覚症状のないうちに検診を受けて発見されたがんの多くは早期がんであり、90%以上が治るといわれます。」

※自分のためだけでなく、家族のためにも健康を守るため、毎年定期的ながん検診をぜひ受けましょう！

## ◆「女性特有がん検診を受けましょう！」

～無料クーポン券対象者の皆さんへ～

女性特有がん検査の無料クーポン券をまだご利用されていない方は、**3月31日まで**使用ができますので、ぜひご利用ください。

## ◆「精密検査を受けましょう！」

～各種がん検診で要精検となった皆さんへ～

まだ医療機関を受診されていない方は、**3月31日まで**に精密検査をお受けになり、検査結果の提出（住民福祉課まで）をお願いします。



【お問い合わせ】 住民福祉課 健康づくり係（電話66-2111）



**小児メタボリックシンドロームを防ぐには(I)**



新生活を始める前に家族の健康を見直す良い時期でもあります。

平成 20 年度から成人の健康診査が特定健診となり、メタボリックシンドロームの判定基準を取り入れての健診が義務づけられました。このメタボリックシンドロームは、今や大人だけの問題ではありません。

小児期から毎日の食事や運動、睡眠といった生活習慣に偏ったところがあると、それがもとで早い時期から生活習慣病を発症してしまいます。

でも、同じように乱れた生活を送っていても病気になる人とならない人がいます。

それが、個人差で遺伝や体質が関係してきます。

**肥満（太りすぎ）は危険信号のひとつです。**

肥満は肥満度と小児の場合はウエスト周囲径『★』（大人は腹囲で測定）と『☆』の項目が2つ以上重なると、小児期メタボリックシンドロームとの診断がつきます。

**《小児期メタボリックシンドローム診断基準》**

★ウエスト周囲径が中学生 80cm 以上、小学生 75cm 以上もしくは  
 $\text{ウエスト周囲径 (cm)} \div \text{身長 (cm)} = 0.5$ 以上

これ★に下記の項目☆のうち2項目以上に該当があること

☆中性脂肪（トリグリセライド）：120mg /dl 以上

かつ／または

HDL コレステロール：40mg /dl 未満

☆収縮期（最大）血圧：125mmHg 以上

かつ／または

拡張期（最小）血圧：70 mmHg 以上

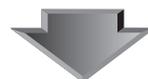
☆空腹時血糖：100mg /dl 以上



**♡最近はこちら考えられています。**



親が太っているから子どもも太るのは仕方ない



【遺伝はあっても・・・】

親と同じようなものを食べ、同じような生活を送ることで肥満の遺伝スイッチに刺激が伝わり肥満が進む。

逆に、遺伝はあっても規則正しい生活習慣を身につけ規則正しい生活を送ることで、遺伝のスイッチが入らないと言われています。

親も高血圧の治療を受けているから自分も仕方ない・・・と諦めてしまうのではなく、まずは病気にならない生活を送ることを考えてみましょう！

次回は家族の肥満度について考えてみたいとおもいます。

ご不明な点は住民福祉課健康づくり係（電話 66 - 2111）までお気軽にご相談ください。

## 筑北村に 地震体験車が来りました

2月20日に長野県が所有する「地震体験車」が筑北村に来ました。

麻績消防署の協力により、本城・坂井地域（坂北地域には昨年度来ています。）の住民、保育園児、小学生のみなさんに地震体験をしていただきました。

過去に発生した地震の再現を体感し、みなさん地震の怖さを再確認していました。

地震はいつやってくるかわかりません。家具等の転倒防止や避難する際の必需品などを再確認しておきましょう。



大地震の揺れは想像以上です

## 森林の所有者届出制度が 4月からスタートします

昨年4月の森林法改正により、今年4月以降、森林の土地の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられました。

### ■届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続などにより森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。

### ■届出期間

土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。

※詳しくは左記までお問い合わせください。

○産業課農林係

（電話67-2002）

○県松本地方事務所林務課

（電話40-1926）

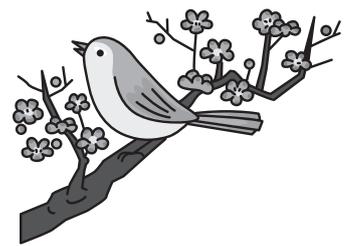
## 森林税により、森林の整備が進んでいます！

長野県森林づくり県民税（森林税）は、戦後一斉に植えられた森林（人工林）のうち、特に荒廃が進んでいる里山周辺の森林整備のために使われています。（平成20年度～24年度の5年間）

また、各地域で取り組んでいる森林づくりへの支援や、森林や木材について学ぶ活動に対しても使われています。

筑北村では、平成20年度から22年度までの3年間で、63ヘクタールの森林が整備されました。

獣害対策のための緩衝帯林の整備にも森林税が使われています。



間伐後



間伐前



**新たな総合5か年計画  
(松本地域編)づくりのため、ご意見等を募集します**

長野県では、平成25年度を初年度とする5か年の計画の策定を進めています。

県松本地方事務所では、新たな総合5か年計画(松本地域編)を策定するにあたり、皆様からのご意見・ご提言を募集します。あなたが考える松本地域の課題、地域づくりを進めて行く上で大切にしたいことなど、皆様のお考えをお聞かせください。  
(「松本地域」とは、松本市、塩尻市、安曇野市及び東筑摩郡により構成される地域です。)  
寄せられたご意見等は、貴重な資料として計画づくりの参考にさせていただきます。

◆ご意見・ご提言の募集期間  
平成24年4月2日(月)まで  
※詳細は、お問い合わせ又はホームページでご確認下さい。  
▽県松本地方事務所  
地域政策課 企画振興係

電話40-1902(直通)  
(<http://www.pref.naganol.jp/xihou/matu/index.htm>)

**長野県立病院機構  
看護学生就学資金貸与  
希望者の募集について**

当機構では、看護師または助産師を目指している方に就学資金を貸与し、学校生活をサポートします。

県立病院に一定期間勤務した場合は、返還免除となります。あなたの夢の実現のため、ぜひご利用してください。

○募集期間

平成24年4月2日(月)から  
6月1日(金)まで

○貸与額

月額5万円または月額8万円

○貸与期間

養成学校の正規の在学期間内

※詳細は機構ホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.nagano-hosp.jp/>)

◇お問い合わせ先

機構本部事務局職員課  
電話0120-173-314

**平成24年度JICAボランティア春募集説明会のご案内**

独立行政法人国際協力機構(JICA)では、途上国の人たちとともに様々な課題の解決に取り組んでいるJICAボランティアを募集しています。

長野県内で、JICAボランティアの「募集説明会&体験談」を行います。参加は無料ですので、お気軽にお越し下さい。(松本市での会場は次のとおりです。)

**【青年海外協力隊】4月14日(土) 松本市中央公民館(Mウイング)4-1会議室 10:30~12:30**

**【シニア海外ボランティア】4月14日(土) 松本市中央公民館(Mウイング)4-2会議室 10:30~12:30**

詳しくは、JICA 駒ヶ根ホームページ (<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>) をご覧下さい。

**【問い合わせ先】 JICA 駒ヶ根 (募集担当：加藤) 電話：0265-82-6151**

**★ご存じですか?「しんしゅうくらしのマップ」★**

しんしゅうくらしのマップは、インターネットで閲覧できる電子地図サービスです。長野県内全域の地図の上に、ここでしか見ることのできない様々な地理情報を重ね合わせて閲覧できます!

詳しくは、インターネットから、「しんしゅうくらしのマップ」で検索!

長野県企画部情報統計課 026-235-7072

# 筑北村 議会だより

第38号

平成24年3月16日発行

編集 筑北村議会だより編集委員  
〒399-7601

長野県東筑摩郡筑北村坂北 2187 番地

電話 0263-66-2211

FAX 0263-66-3656

ホームページ

<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

本議会の映像は  
筑北村ホームページから  
ご覧になれます。

## 議会12月定例会

### 一般質問

12月15日の一般質問では11人の議員が村政を問いました。

### 総合防災訓練実施後の今後の方針について

山崎 好弘 議員

**質問** 村は総合防災訓練を11月13日に実施し、村民、松本広域消防局、安曇野警察署、塩筑医師会等、計2,100人が参加し防災意識が高まったと考える。第1回総合防災訓練を参考にし、次の項目について伺う。

- (1)緊急時における電話の不通
- (2)常会・組の支え合いマップの

更新等は重要である。行政における担当課はどこか。

- (3)地区公民館・避難所の耐震強化の再検討を要望する。

- (4)本村は東京電力柏崎刈羽原発から直線で約130km以内である。松本・安曇野・塩尻市では安定ヨウ素剤の備えを始めたが、村の対応は。

- (5)災害備蓄資材の23年度予算は38万5千円である。更なる充実を求める。

- (6)災害緊急時対応として、地区公民館・集会所へ車イスの配置を要望する。

### 村長

(1)緊急時における電話の不通、告知放送、電話困難な地域をどうするか、研究して環境整備を進めていきたい。

- (2)19年度から支え合いマップ推進事業を立ち上げ、社会福祉協議会へ委託し、マップを作成してきた。非常時の支え合

いマップ作成過程で各地域内における要支援者の状況、地域に必要な福祉ニーズの把握ができる。今後も継続して取り組みたい。

- (3)地区公民館・避難場所の耐震強化については、建築年度不明が30箇所、建築年で耐震診断が必要が10箇所ある。今後地区防災計画として拠点になるところを耐震診断し、避難施設に再編し、財源の見通しをつけ早急に取り組みたい。

- (4)安定ヨウ素剤は、服用すると甲状腺への放射能集積を防ぐ効果が認められている。村としては、県レベルでの対応を要望したい。

- (5)災害備蓄資材は今後非常食以外の備蓄品が必要であり、東日本大震災の経験から必要な備品類をリストアップし、配備場所を考慮に入れ新年度予算で計上していきたい。

- (6)車イスの公民館・集会所への配置は、今後検討したい。

### 麻績村との合併について

宮下 隆文 議員

**質問** 麻績村が離脱した合併をして6年になる。この間合併の効果も感じられず両村とも地盤沈下しているように見え、特に飛び地になった坂井地域では麻績村との合併を望む声が強い。村内には合併から離脱した麻績村に拒否反応を示す人も多いが、合併に対し現時点でどのように考えているか伺う。

**村長** 外から見てこの地域はワンセットだから、出来るだけ早く合併を実現していきたいが、両村とも乗り越えるべき課題を抱えている。学校統合の話を手始めに信頼感、連帯感を深めていき一日も早く大同団結して、都市に向かって地域力の情報発信ができる状態を作りたい。

### 地区担当職員制について

**質問** 今年度試験的に導入された地区担当職員制は非常に評判が良くない。議会の求めている制度とは大きくかけ離れたもの



で、今後どのような役割、組織機構で行くのか伺う。

**村長** 一つは、区でいろいろな活動しているところに可能な範囲で参加してお手伝いをする。二つ目は村と区をつなぐ情報のつなぎ役として活動したい。

**質問** 地区担当チーム全員が、本来業務と掛け持ちなので、村民課の中に各チームに指示を出す専任の職員を配置されたい。

### 総合防災訓練について

**質問** 11月13日に行われた総合防災訓練はあまり内容のない訓練だったと思うが反省と総括はしてあるのか伺う。

**村長** 全体総括はこれからだが、寄せられた中では開催時期の連絡の遅れ、情報伝達の環境と手段の不備、避難場所の指示の不徹底、自主防災組織の体制作りの必要性が上げられている。

**質問** 防災計画を見直し、安全に避難できるマニュアル作り、それに基づいた訓練計画が必要ではないか。

**村長** 今後の検討に十分配慮したい。

### 村長の政治姿勢について

宮島 義次 議員

**質問** 活力ある元気な村づくりを掲げ、前半が終わったが、村長自身この2年をどう総括しているか伺う。

**村長** 2年の段階では、種まきと育てることに力を注いできたので、具体的な成果として提起できる点は多くはないが、健康増進では健康館でキラリアクア健康教室を開催した。結果は大好評で、延長講座を冬場に開催している。新年度も継続し、医療費、介護経費の節減に結びつきたいと思っている。

人口増加については、交流人口を増やす活動を展開している。具体的には、日帰り型と滞在型の農村体験学習旅行を受け入れ、順次拡大したいと思っている。6次産業化は、今年4月から開発公社の体制を拡充して事業化に取り組み、村内の加工グループが発展できる支援を行い、自ら作り出す商品を地域の産業として発展させたい。

行政改革では、温泉施設経営

改善で坂北荘を入浴施設と高齢者が集える拠点に業態変更した。協働事業支援金を使った事業も14件ほど具体化しており、今後さらに地域の課題を解決できるよう制度を生かしたい。また、職員の集落担当制を導入したので、確実に成長させたい。

後半2年は、この基調に立つて実現を期したいと思っている。

### 平成24年度予算編成について

**質問** 平成24年度予算編成にあたって、編成方針を伺う。

**村長** 新年度予算編成での最重要課題は人口減のストップと人口増加対策で、これを機軸に生涯現役の長寿の里づくり、地域資源を生かした産業振興、教育と子育て支援の充実が重点であるため、人口増加対策、健康寿命の延伸、地域内の産業活性化、学校統合を重点事業としたい。

予算規模は、39億円を目指している。村の歳入の半分以上を占める普通交付税は、22年度の国勢調査による人口減の影響で、1億3千万円余の減額が見込まれる。歳出は、人件費、公債費

は減少するが道路、諸施設の維持管理費、社会保障費は増加傾向にある。

厳しい村財政の中、選択と集中、優先順位をつけ、財政規模を縮減し予算編成をしたい。

### 行政懇談会で村民より出た意見と要望について

山崎 広道 議員

**質問** 行政懇談会において、参加者より出された意見等を、筑北村で進めている活力ある元気な村づくりの現状と今後の展望の基本課題について伺う。

**村長** 生涯現役の長寿の里づくりでは、健康館の活用を前向きにとの意見もあり、温水プールで健康増進基地の役割を果たすために機能確立を考えている。

人口減ストップでは、この地域の振興と雇用の拡大をどの様に取り組むかは、地域の人脈を生かし、企業誘致の取組を総合計画の中でも継続する。

行財政改革については、村職員数では、ほかの先進事例を見るところによると縮減して行政を行



**質問** 学校統合・国道403号線改良・古司線延長・高齢者福祉・成人式等々麻績村と連携する事業が数多くあると思うが如何か。

**村長** 筑北村として元気な村づくりが立ち上がっている。麻績村民がその活動を見て合併の思いを抱く村にしていくことで、合併の問題をテーマとした組織が立ち上がり、目的を達成できるコースをとりたい。

**質問** 当面両村が共存共栄を図り、融和を保ちながら近い将来合併が実現できる方向で努力をお願いしたい。

**元気な村づくり**

宮澤 信雄 議員

**質問** スポーツを楽しみ健康づくりに向けた、スポーツ活動の振興施策について伺う。

**村長** 生涯現役で、ピンピンキリで健康長寿の村をつくるためスポーツの果たす役割は大変大きいと思っている。

楽しみながら体も鍛えられ、絆も深まることが望ましいが、

環境をどうつくるかが大事であるし、地域の経済を活性化するということにもつながるので、広がりのできる仕組みを順次考えていきたい。

**生涯学習課長** 健康寿命の延伸に向けて、総合計画の後期基本計画を作成中である。

(1) 健康体力講習会や出前講座

(2) 高齢者の社会参加、生きがいづくりの支援

(3) 多様なスポーツ活動の機会

(4) 体育施設や用具の充実と活用促進

(5) 指導者の養成

他に、23年度から社会体育施設の村内利用者の無料化、安全で使いやすい施設として整備を随時推進していく。

**質問** 総合型スポーツクラブについて検討するとしていたが、振興策としてその後如何か。

**村長** 総合型スポーツクラブは、地域に導入し大いにやろうと前向きなキャッチをしたが、県の仕分けで推進の動きがカットされたと聞いており、しばらくは様子見状態である。

**教育長** スポーツによって心身を鍛えることは、大変重要だと

思う。地域総合型スポーツクラブを新たに立ち上げなくても、現在あるものをうまく改良して地域スポーツを盛んにしていくか、大きくは生涯にわたって健康づくり等々につなげていくか、研究していきたい。

**質問** スポーツ活動の振興に、人口減ストップと人口増加対策が基本課題としてある。交流人口増への整合性は如何か。

**村長** 交流人口を増やしていく手段として、スポーツを生かすことは有力な方法である。筑北地域はスポーツ施設が集積しており、愛好者の中では人気で評価が高い地域である。

宿泊施設「とくら」「冠着荘」は特に夏場などはスポーツ合宿で利用者が多い。今後もスポーツを通じた交流拠点としての位置づけを大切に伸ばす等、検討を深めていきたい。

**質問** 「おむつが軒下にはためく里地づくり」がいわれている、人口減ストップ・人口増加対策へ、若者の定住できる村づくりを要望する。

**文化財保護**

久保田 義信 議員

**質問** 大日如来像を、7月29日国文化庁文化財部の川瀬由照文化財調査官、県教育委員会文化財係の山口清志主査が来村し、詳細な調査や写真撮影を行い、再度調査する説明があった。

11月21日に文化庁川瀬文化財調査官と、京都市の財団法人美術院の国宝修理藤本清一所長、堺淳技師が訪れ、大日如来坐像を台座から下げ、仏像内外の傷みと内部の調査を行った。

鎌倉初期の奈良仏師運慶作の仏像内に五輪塔、心月輪（水晶球）は、納められた様子がなく作者は不明確である。大日如来は昭和53年以前は大日堂に安置され収蔵庫が建築されるまでは、国の重要文化財の価値観すらなおざりであった。時代が8百年を経過し、両眼水晶球は外れ仏像も傷みが激しい。大日如来坐像の修復保存は、文化庁国宝修理所において詳細報告書が提出される。村の対応は如何か。

**村長** 調査を通じ、文化庁から価値ある仏像であることが判明し修復することを願っている。

大日如来坐像をしっかりと補修し、この地域の宝として大切に保存していただける環境を整え、村としても応分な対策を考えたい。

**生涯学習課長** 県を通じ、現在修理補修の予算見積り中とのこと。正式な文化庁の現地調査結果を踏まえ、岩殿寺、仁熊区、村、文化財調査保護委員会で修復保存について、随時検討していきたい。

### 筑北村表彰規則について

**質問** 平成17年10月11日筑北村規則第1号に筑北村表彰規則が定められ、趣旨、基準、交付記念品、追彰等8条項が規定されている。この規則に準じて表彰する基本的な考えは如何か。

**村長** 合併して7年を経過する中で、表彰規則を適用した事例はない。内部的に検討したが、合併10年を節目にして、その後5年単位を考えたい。議会と相談しつつ今後検討したい。

**質問** 規則が定められて5年が

経過する。表彰は村民も目標をもって励み活性化につながる。再考を要望する。

### ため池の安全管理について

**質問** 村内のため池の数は、63ヶ所、漏水防止用シート張19ヶ所の安全対策に、補正予算（第4号）で725万円計上された。県の補助事業を活用して整備されたいが如何か。

**建設課長** 12月1日付で、県単農業農村整備事業が急きよ一部改正で施行になった。転落防止のフェンス、危険箇所を示す警戒標識、救助用ロープ等が対象で、3月補正予算で一部県単等に対応したい。今後安全事故防止対策に万全を期したい。

### ふるさと館の活用について

田口 茂 議員

**質問** JAに指定管理の指定をしている本城地区のふるさと館がいまだに再開されず、利活用がされていない、今後の対応を伺う。

**村長** ふるさと館を生かして、地元の特産品を供給する施設として活用することを約束したが、JAで食堂の経営が悪化したため3月に閉店した。今後JAと再度協議をして通年開館に対応したいと思っている。

**質問** ふるさと館に鹿教湯三才山リハビリステーションが入居利用しているが、目的外使用であると考えるが如何か。

**村長** 地域の特産品を販売する施設としてJAを信頼しながら今日まで至っている。

具体的な状況把握はしていない、事実関係については調べ後日返答する。

**建設課長** 質問の目的外使用ではないかという点について、産業課長とも打ち合わせをし、JAに聞き取り調査をした上で今後の対応を検討したい。

### 農業振興と農業者個別所得補償制度について

**質問** 畑作で小麦を作っても販売検査をし等外になると、国の数量払い交付金は一反歩平均単価60kgで6,360円とすると

4万3,700円の作目ごとの助成金が受けられない。安心・安全で生き残れる農業を目指すためにも、村の作付交付金の増額を求めるが如何か。

**村長** この地域全体が粘土質であり、畑作には不適応なところを無理して畑作品目を入れているので品質が安定的にいいものが作れない。

村は単独の補助として農作物振興交付金（大豆・雑穀・菜種）を交付し支援しているが、国の戸別所得補償方式のひずみ部分をさらに村が補完できるかという、残念ながら現在の体力では手が及ばない。

地域農業を守っていく立場から制度的にもできる範囲のことはしっかりと手当てをしていきたい。

**産業課長** 小麦の刈り遅れ等で品質にばらつきが出る。地域間で農業者の品質の格差が大きいということ、地域の皆さんに普及センター等の指導により、栽培の方法について技術指導していきたい。

停電で通話出来ない  
22電話について

柳澤 忠 議員

**質問** 9月の議会で、同僚議員が村の22電話が停電で使えないと質問した。村は、使えない事を認める答弁であった。私がメーカに問い合わせさせて調べたら、停電の時は瞬時に自動的に普通電話回線に切り替わり、22を外してかければ電話が使えるシステムになっている、と回答があった、如何か。

**総務課長** 指摘の通り、子機など付加機能は働かないが、停電でも通常の電話として使用できる事を村も確認した。

**質問** 村は21年の高速通信網のスタート時点で、速やかに確認するべきであったがそれを怠った。そのため、坂井地域の停電で住民がパニックになった。早急に全村民に周知すべきである、如何か。

**総務課長** 早急に対応する。



停電の時機能が満たされな  
い告知端末について

**質問** 告知端末は停電の時、お知らせ放送や、緊急放送を聞く事ができない。そのため住民は安心安全な生活が出来ない。この問題を解消するには、告知端末にバックアップ装置をつければ停電でも告知端末が働き、村からの放送を聞くことが出来る。早急に検討を願うが如何か。

**村長** 防災無線の野外スピーカーは聞き取りにくいと言う指摘がある。提案の告知端末にバックアップ装置をつける事については、有力な方法なので調査をして検討する。

3チャンネルの活用について

**質問** 自主放送の3チャンネルはこれといった活用がされていない。坂井、坂北、本城の祭り、学校や保育園の様子、村の行事など、身近な情報を流す事はお年寄り達や、多くの村民に喜んでもらえ、これが元気な村づくりの基本だと考える。総合5カ年計画に入れ取り組むことは如何か。

**村長** 放送審議会に諮りながら、可能性を含めて検討していく。

常会の未加入者について

**質問** 村内には常会の未加入者が多数あり、配布物などは村職員がわざわざ届けている。改善を図るべきだと思うが如何か。

**総務課長** 外国人も含めて未加入者は65世帯ある。

**村長** 集落のコミュニケーションを図りながら、常会に加入して頂くためにはどうしたらよいか内部で検討していく。

役場職員事故死による  
村の対応について

前山 栄二 議員

**質問** 建設課職員が坂北東山地籍のため池を巡回点検中に誤って転落、不慮の事故死が報じられたが、何故この様な事故が発生したのか安全対策も含め村長に伺う。

**村長** 経緯を振り返ると、ため池の凍結防止帯用電源投入作業の途中での事故であり、職員一

同職場の安全対策の徹底と精神的痛みを乗り越え、二度とこのような事故を起こさないよう、注意、確認をしたところである。

また、緊急課長会議を招集し、危険箇所の総点検を行い、安全対策を講じることと、危険箇所へは2人作業での指示徹底を申し合わせた。また、今回の事故により他職場より2名を補充し体制を整えたが、責任者として、彼の命を守れなかったことはやはり非常に残念である。

今後は公務上のリスクに対し、健全で安全な職場を目指し、安全対策を講じながら職員が元気に職務を全うできるよう環境を整えて行きたい。

**質問** 役場には安全管理規程はあるのか。また、公務災害であるが何らかの機関の立ち入り監査があるのか総務課長に伺う。

**総務課長** 村には職員服務規程がありその中に安全等の規程がある。また、公用車の整備管理者の服務規程、職員安全衛生管理規程の3点がある。今回の補償は地方公務員の災害補償基金の規定により、誠心誠意対応したいと思っている。

## 職場の安全管理について

**質問** 建設課内の安全教育や規程の見直しは実施されたのか伺う。

**建設課長** 課内で、表示板への目的地や帰庁予定時間の明記、危険箇所での点検作業は2人態勢での行動等指示徹底をした。

今回の事故対策としては、村内のシートが張られたため池の19箇所救助用ロープや浮き輪の備え、柵の補修、警戒標識の設置とライフジャケットの購入等を行い、服務規程は引き続き遵守し職務を遂行していく事を基本に考えている。

## 村長の職務について

関川 芳男 議員

**質問** 村長は村長としての職務を遂行しているのか。村長の職務の中で一番大事なことは、住民の生命、財産を守り住民に不利になるような行政はやるべきではないと考える。

また、村長は行政の中で議会、選挙管理委員会、教育委員会の

3機関には、村長でも指揮命令はできないが助言や予算計上は村長の職務と考えるが、学校の統合担当課長を総務課内に置いて、教育委員会とは別に仕事を遂行しているのは、明らかに村長の職務権限以外のことで問題であると思うが、村長の見解を伺う。

**村長** 学校統合にかかわる担当課長を置くことが村長として教育委員会との関係を踏まえ如何ということについては、教育委員会の職務は、地方公共団体における教育関係の執行機関として事務処理を行うという位置づけであり、小・中学校の設置主体は村である。

特別の担当部署を置いたのは、村長として議会へ提案する具体的な内容を準備するためであり、教育委員会の教育内容についてうんぬんするわけではない。

村長権限としてこの領域を専門的に調査、研究して、議会へ諮るその整理をしているわけであり、地方自治法から見て越権行為ではないと理解している。

## 学校等統合問題について

**質問** 学校等統合問題の検討経過について、村づくり推進検討委員会に村長より教育委員会からの上申書、そして提言書が提出され、その後発足した学校等統合検討推進委員会で検討されてきた。また、筑北村・麻績村学校等検討会議も両村で開催されている。麻績村は教育委員会が担当しているが、当村は検討担当課であり、対応は村長が行っている。当村には教育委員会がないものと同じと思つたこともある。教育委員会にも重い責任があると思うが、その事について伺う。

**村長** 教育委員会から検討整理されたものを受けており、それをどう実現するか検討する立場である。形を決めて議会へ提案するのは村長の責任であり、責任を背負いながら発言しているというのが若干の経過である。

教育委員会と行政、そして最終的な判断は議会であり、三位一体であたらない限り、この大きな命題に対してはよりよい着地が図れないと認識している。

したがって、情報を共有し、

十分腹藏のない意見を交換し合いながら住民の期待に応えるよりよい着地を目指していきたい。

## 委員会報告

町村議会正副議長・正副常任委員長研修会開催

副議長 宮島義次

2月1日、長野県松本文化会館で中南信の町村議会正副議長・正副常任委員長研修会が開催されました。

研修会では、県町村議会議長会の宮寄康史氏から「本会議・委員会の制度と運営」について講義を受けました。



2月2日、第2回北部（生坂・麻績・筑北）3ヶ村議会議員懇談会が生坂村やまなみ荘で開催され、県町村議会議長会宮寄康史氏より地方自治法改正についての講演を聴き、各議会より活動報告を受けました。

宮寄氏より平成18年以降の地方自治法改正の住民自治の更なる充実を図る為、議会の招集及び会期、議長と首長との関係等事例を含めて話がされました。各議会からは議会改革、村民団

総務常任委員長

宮澤 信雄

**北部3ヶ村議会議員懇談会が開催されました**

議会活動の主である本会議・委員会における審議の充実と効率的な運営をするために、実例等を挙げて根拠と制度についての話をされました。

今回の研修会で学んだものを今後の議会活動に活用し、議会の活性化と適正な議会運営を行い、村民の皆さんから一層信頼され、期待される議会にしたいと考えています。



発表者 宮下降文議員

体との懇談会等を中心に報告され、筑北村議会は宮下降文議会議長より、議会活動の現状と改革に向けた取組や課題について報告しました。講演・報告により議会に求められていることを学びあい、北部3ヶ村が諸課題解決に向け連携していくことを確認しました。

筑北村議会へも多くの皆さんより要望・提言があるので議論を深め、先を見ながら村づくりに取り組んでいく決意を固めた。有意義な懇談会でした。

**教育委員会と社会文教委員会の懇談会開催**

社会文教常任委員長

山崎 好弘

2月9日、村教育委員会主催による社会文教常任委員との懇談会が行なわれました。

こども支援課から24年度事業予定についての説明を受けました。「子どもサポートノート」は、一人ひとりの子どもの健やかな成長を願い、乳幼児期から学校卒業段階までの一貫した支援をしていくために、医療、保健、福祉及び教育等の各機関と

の相談や支援内容を記録し、保護者と支援者が共有化するための一助です。生涯学習課関係は(1)24年度事業について(2)施設の状況(3)文化財についての説明を受けました。筑北村生涯学習基本構想、後期基本計画にそって着実なる推進を求めました。

学校等統合については、子どもを主役にしたよりよい教育環境の整備、筑北地域は一つの方角性、未来を切り拓く、心豊かなたくましい人間の育成をめざして、麻績村との協議、お互いの立場で禍根を残さないよう努力し、学校統合について確認した有意義な懇談会でした。

**議会日誌**

**1月**

- 8日 消防団出初式
- 13日 特別委員会・全員協議会
- 30日 特別委員会・議会運営委員会

**2月**

- 1日 県町村議長会議員研修・商工会新年賀詞交換会
- 2日 北部3ヶ村議会議員懇談会
- 7日 松本広域連合議会・議会だより編集委員会
- 8日 安曇野松筑広域環境施設組合議会
- 9日 社会文教常任委員会・教育委員と社会文教委員との懇談会・筑北クリーンセンター組合議会
- 10日 総務常任委員会
- 13日 特別委員会・全員協議会・議会運営委員会
- 17日 建設産業常任委員会・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会
- 20日 全員協議会・穂高広域施設組合議会
- 21日 社会文教委員会
- 23日 郡議長会議長事務局長会議
- 24日 県町村議長会定期総会
- 29日 麻績村筑北村学校組合議会

# 筑北村 公民館報

第38号

平成24年3月16日発行

〒399-7711

長野県東筑摩郡筑北村坂井 5711-1

電話 0263-67-1161

FAX 0263-67-2170

ホームページ

<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

## 「筑北村子ども支援プロジェクト事業」の概要 シリーズ最終

＊「筑北村子ども支援プロジェクト」とは、平成23年度を初年度（試行年度）とした、筑北村の子ども一人一人の「育ち」に関する施策の方向性を描いた、全体構想のことです。（詳細はシリーズ①②③④をご覧ください。）

## 子どもサポートノートの策定及び普及

一人一人の育ちに対する一貫性のある支援

一人一人の子どもの健やかな成長を願い、乳幼児期から学校卒業段階までの一貫性のある支援をしていくために、医療、保健、福祉及び教育等の各支援機関との相談や支援の内容をノートに記録し、保護者と支援者が情報が共有化するための一助とする事を目的とした筑北村独自のノートです。保護者が、我

が子の「育ち」の様子を成長のステージ毎（母子保健関係期・児童福祉関係期・学校教育関係期）に、健診や各種相談、訪問等から重要と思われる子どもの情報や出来事、頑張った事等を記録し、我が子に対する愛着の醸成と必要な支援を行うための指針として活用していただけるように、平成24年度早い段階に配布・普及を予定しています。

## 「幸せはこぶ」筑北クローバープラン」の普及

生涯学習社会の一員としての資質づくり

子どもたちを取り巻く家庭・社会環境が大きく変わり、人と人との結びつきが希薄化する中、教育のあり方も「個性化・多様化・自由化」という潮流は時代が要請する必然と考えられます。しかしながら、どんな時代でも人として、大切にしなければならぬことがあると考えます。ところで、筑北村の村民憲章に

は、人や自然への思いやり、優しさなど、豊かな道徳性の涵養を図る願いが込められていると考えられます。そこで、筑北村のすべての住民が共に育つことを願い、筑北村民憲章の願いに基づいた「筑北クローバープラン」が、家庭でも学校でも地域でも、日々の暮らしの中で、地道に実践されることを提唱いたします。

## 幸せはこぶ

### 筑北クローバープラン

- ◆ あいさつをしよう
- ◆ 汗を流そう
- ◆ 本を読もう
- ◆ 対話をしよう

## おひさまの森 ひなまつり会

2月24日（金）に子育て支援センターを会場に、ひなまつり会が開催されました。



手あそび等の後には、オリジナルのお雛さまづくりに挑戦しました。いろいろな表情のお雛さまを壁面に飾りつけ、和やかなムードの中で楽しむことができました。



## アンケートご協力のお礼

未就園児・保育園児の保護者の皆さんに対してのアンケートに、ご協力いただきありがとうございます。ございました。

ご意見・ご要望は、今後の保育園や子育て支援センター等の運営改善に参考とさせていただきます。

今後とも運営等にご協力をお願いいたします。

「絆」今、大切にしたい心

2月16日、奈良薬師寺、山田法胤管主を講師にお迎えして新春講演会が開催され、ユーモアを交えながら、温かみのあるお話を時を忘れ聞き入りました。今、東日本大震災等により、日本は、政治・経済・社会も大きな危機を迎えている中で、今一度身の回りを振り返り、私たちの日常や家庭の中の変化に気づいて、行動することの大切さを話されました。特に印象に残ったことばは、「和顔施」です。「愛敬は、こぼれて減らぬ、身の宝」普段の生活に常に心がけたいものです。



つる細工教室から

里山に自生している『つる』を採ってきて、そのつるを材料とした作品づくりの教室が開催されました。秋に里山で採ったつるを茹でて干したものを冬、公民館で編みました。坂北地域の田中泰子さんの指導の下、藤やアケビのつる、よく分からないつる等ありました。よく分らないつる等ありましたが、いちばん扱い易いのは、アオツヅラフジ属のつるでした。力の入れ具合やつるの形状でイメージとは違う作品ができ、「あれあれ」と思いながら、でもそれもまたよし。これに何を入れよう、何を飾ろうなど考えながら編むと時間の経つのも忘れ夢中になっていました。



作品は、文化祭に出展しますのでお楽しみに。

教育委員会だより

心の伝言板(19)

今、どんな人権問題が現実にあるのでしょうか。

最近起きている人権問題は

●女性に関する問題

「男は仕事、女は家庭」の意識が女性の社会進出を妨げる。夫からの暴力、セクハラ等。

●子どもに関する問題

少年非行の増加とこれに対する親の虐待、児童ポルノ、学校でのいじめ・不登校等。

●高齢者に関する問題

「高齢者への精神的・肉体的虐待、要介護者への人格侵害。障がいのある人への問題

●障がいのある人への問題

障がい者への偏見や理解不足、社会参加が困難。

●同和問題

結婚や就職、職業等での偏見・差別。誤った理解。

先日行われた「部落解放研究大会」(1月25日松本市県民文化会館)に参加した方の感想を紹介します。

(当大会は部落史を新たな視点で捉え直し、差別解消をめざす大会でもあります。)

「県内で差別事象が今も絶えないことに驚きました。それは、

①市役所等へ「被差別部落の地区を知りたい」という問い合わせが今もまだ行われ、その意図を正す職員の対応に応えない問題電話。

②県内の介護施設での介護職員が入所者に対して人権を侵害する言葉を発言していた問題。

③公共施設などへの差別的な内容の落書き等々。

これらは、相手の人権を尊重する精神の欠如や同和問題への無知が招いた事件と言えます。

私たちもこのような悲しい事件を招かないように、また、そういう言動等を見て見ぬふりをしないよう、正しい知識を深め、人権感覚を磨いていく努力をしたいものです。」との大事な感想をいただきました。

●その他の人権問題も山積

外国人に対する問題。HIV感染者・ハンセン病などに関する問題。犯罪被害者などに関する問題。刑を終えての出所者に関する問題。アイヌの人々に関する問題等々。

外国人に対する問題。HIV感染者・ハンセン病などに関する問題。犯罪被害者などに関する問題。刑を終えての出所者に関する問題。アイヌの人々に関する問題等々。

外国人に対する問題。HIV感染者・ハンセン病などに関する問題。犯罪被害者などに関する問題。刑を終えての出所者に関する問題。アイヌの人々に関する問題等々。

## 筑北シニア大学実践発表

2月17日（金）坂井公民館に於いて、筑北シニア大学が行われました。



升田さん、27年間野球指導。白井さん、柔道指導で週5日穂高から通って。

今回は実践発表と閉講式が行われ、実践発表では学童野球指導者・升田博之さんと学童柔道指導者・白井政晴さん、森の子お話の会・柳澤登代子さんから地域の子供たちと関わって来られての喜びややり甲斐、ご苦労されたことまた、今の子供たちから感じるこゝとの発表があり、自分とこれから子供たちとの関わりや地域に求める教育者以外の教育支援者の必要性など、地域が子供たちを育んでいく事の大切さを熱く語って下さいました。



童心に戻りましょう

筑北村では、永きにわたり多くの方が子供たちの育成に関わってくださり、支えてくださっているという幸せが伝わってきました。



皆勤者の皆さん、おめでとうございます。

## 郷土食研究会のみなさんと

坂井地域で、おやき・やしよま等の郷土の食べ物を研究し製造販売も手掛けている郷土食の方々に、坂井保育園で、やしよま作り。坂井小学校三年生は、

社会見学の勉強で、おやき作り。の交流指導をして頂きました。

保育園では、いろいろな絵柄のやしよまを作っていたいただき、園児も米の粉を伸ばしながら賑やかに思い思いのやしよまを作っていました。



あっ！アンパンマンだ！

小学校では、郷土食研究会の仕事を見学し、おやきの具材も郷土食研究会の皆さんが作った野菜を使ったり、地元の食材を使う工夫をしている事などを学び、気になることなど質問し、記録をしていました。

実際におやきの作り方を指導していただき、子供たちも一生懸命おやきを作り、伝統の味を楽しみました。

## 中学校修学旅行紀から

筑北中学校三年生は、修学旅行で広島原爆ドームに行きました。



吉池 健

○平和公園で平和セレモニーを行いました。「夾竹桃きょうちくとう」をしっかりと思いをこめて歌えたのでよかったです。その後、平和記念資料館に行きました。自分のテーマの「原爆の被害」についてしっかりと見学でき、放射線の大変さを学びました。次に被爆者講話を聞き、当時の大変さを知ることができました。

三輪 祐貴

○平和セレモニーでは、平和を願って誓いの言葉と黙祷を捧

生徒たちは、広島市の平和記念館を見学し、被爆者の講話を聞き、身近に起こった東北大地震による福島原子力発電所の原発事故の放射能の恐ろしさ、汚染の深刻さを現実の事項として捉えられることが出来たのではないのでしょうか。



げました。そして、三年生で作った千羽鶴を奉納し、最後に「爽竹桃」を合唱しました。これからも、平和を願う気持ちをもち続けて生きていきたいです。広島平和記念館には、本物のビンやかわらがドロドロに熱で溶けてしまっているものもあり、びっくりしました。次に被爆者講話をお聞きしました。葉佐井さんが実際に体験したお話をお聞きして、事前学習や授業でやったことよりも心に残りました。

## スキーですいすい

スキー教室

1月13日(金)坂井小学校では、信濃町の黒姫高原スノーパークでスキー教室を行いました。

1年生から6年生までの全校が10班にわかれインストラクターの先生にスキーを教わりました。



《子どもたちの日記より》

1年生 宮坂 佳成

『きのう、スキーきょうしつがありました。リフトにのったら、いきもちになりました。さいしよは、うまくとめられなかったけど、さいごにできるようになってスキーがおもしろいと思いました。』



1年生 西村 颯真

『きょうはくろひめスキーじょうにいきました。さいしよにブレーキをおそわりました。カレートをたべました。まちいせんせいのカレールは大きかったです。リフトにのりました。すべてころんだけどたのしかったです。』

6年生 宮坂 宗純

『1月13日、スキーをしに黒姫高原スキー場に行きました。スキーは年に一度しかやらないから不安だったけど先生のうまいとほめられたりしたので、うれしかったです。昼食のカレーは意外と多くておなかパンパンになるほどいっぱいになりました。午後の授業もちゃんと

できたけど時々ものすごい転び方をしてしまいました。もう笑うしかありませんでした。今度は家族でスキーをしたいです。』

6年生 若林 礼晶

『今日スキー教室がありました。私は2班です。今日、コーチから教わった事は、ターンする時に、手も動かして、ターンするということなんです。手も動かしてしっかりターンできて良かったです。また、行った事のない場所をすべったり、おいしいカレーを食べて、楽しい1日になって良かったです。』



## ほんじょう

### ようこそ！筑北村へ ③

今回は本城地区小仁熊在住の並木さん一家を紹介します。諭さん早枝さんご夫婦と中2、中1の元気な兄弟の4人家族です。並木さんは埼玉県出身で、平成11年に移住してきました。



家族そろってチーズ！犬もいます

#### なぜこの地を選んだのですか？

「昔から山が好きで山小屋で働いていたこともあります。そのまま長野に住むようになりました。初めは山形村にいたのですが、子どもが生まれたのもっと広い場所を探していて、こちらを見つけました。」

#### 自宅で工房を開いている諭さん、どんなものを作られるのですか？

「主に家具です。椅子やテーブル棚

#### 諭さんの製作品の一部を紹介します



すわり心地よさそうです

など、お好みの木、サイズで製作します。ぜひご相談ください。」

#### これからの夢を聞かせてください

「この村で（家具作りを）ずっと続けていきたいですね。村外で作品を展開することが多いので、地元の人にも認めてもらえるようになりたいですね。工房、シヨールームはいつでも開いていますので、お気軽にお立ち寄りください。」

とても職人気質の諭さんでした。これからも筑北村でがんばってくださいね。

<http://koubou-sanka.main.jp>

「こうぼうさんか」で検索するとホームページが見られます。

## 東京フィルハーモニー来校

聖南中学校では、2月20日東京フィルハーモニー交響楽団80人のメンバーが来校し、演奏会が行われた。先生方による生徒たちへサプライズのプレゼントを実現した。文化庁の「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」企画に応募し、全国で5校が選ばれ今回の共演となりました。

2月3日に指揮者の松村英明さんと5人のメンバーが来校し、合唱曲「信じる」と「校歌」のリハーサルを行い今日の演奏会となりました。



「信じる」をオーケストラの演奏で歌った



「校歌」を東京フィルとコラボ

声楽家の馬原裕子さん（今回は司会も務め）は、プッチーニの歌劇「ジャンニ・ステッキ」より、私のお父さん〴〵を歌い、ルロイ・アンダーソン「舞踏会の美女」などよく耳にする5曲を演奏しました。またユーモアを交えた楽器の紹介や、指揮者体験コーナーではベートーベンの「運命」を3人の中学生が行い、指揮者により、こんなにも曲が変わるといふ実演があり、「難しい」「楽しかった」と体験を語っていました。

オーケストラと「信じる」の合唱を舞台で共演し、全校生徒の美しい歌声が体育館に響きわたりました。最後に「校歌」をオーケストラの伴奏で歌いました。観客150人の手拍子での参加もあり、またとない演奏会になりました。

# ホットスポット ちくほく

## 「本城チャレンジ運動」

本城小学校では朝の活動の20分を利用して二学期末から「本城チャレンジ運動」を始めました。企画・運営は体育指導（2年生担任）玉置龍先生です。全校を12グループの縦割り男女混合チームに分け練習を始めました。



①オンザ・ロック  
狭い台の上に6～7人グループ全員が乗り10秒間静止。おぶったり、かかえこんだり、しがみついたり…

6種目が考案され、③『平均台』・学年順に並んで誕生日順に並び替わる。④『輪くぐり』・手をつないで輪をくぐり抜ける。⑤熊さん競争・2つのグループが四つんばいで移動し：⑥スーパーマン：軽量マットにうつ伏せになった人（スーパーマンの飛んでいる姿勢をする）を残りのメンバーが押したり、ひいたりして運ぶ。



②棒リレー  
リーダーの合図で始め、棒が倒れる前にキャッチする。

3学期になり、「サンサン体操」「なわとび」「本城チャレンジ運動」（各種目2グループずつに分け2日間で全6種目チャレンジ）朝の活動時間に運動をしています。



TVによる サンサン体操  
なかなか むずかしいですね！

今年はいんフルエンザやマイコプラズマ肺炎などが流行し、大変でした。（写真他提供 本城小学校）

## 「重ね煮研究会」

2月8日西条温泉とくらの会議室（調理室）において重ね煮料理研究家の戸練ミナ先生を招き、重ね煮の実演料理会が開かれました。村内外から34人の参加者がありました。「筑北村料理研究会」（代表・宮澤夕喜子）は昨年5月より教室に参加した10人のメンバーが中心となって活動しています。



野菜の重ね方  
「上へのびる野菜は下に」  
「下へのびる野菜は上に」  
塩は海の塩をミネラルが多いから

『野菜をとびきり美味しく食べる調理法のひとつが「重ね煮」です』調理法のアレンジメニューの開発や、筑北の新鮮な野菜のおいしさを引き出す研究をしていく。重ね煮の野菜の美味しい匂いと、汁の甘さに感動しました。これからの活動に期待しております。

## コラム

季節はもうすぐ春。この春から新生活を送る予定の皆さんも多いことでしょう。（我が家の娘もその一人）そんなあなたにいろいろ節約術をおくります。

コンセントを抜いて待機電力を切る！冷蔵庫の設定温度は弱！開閉は最小限で。エアコンの設定温度に注意！冬はコタツ、厚手のカーテンで保温！給湯器の設定温度は低めに！お風呂はできるだけシャワーで済ませよう。水の出しっぱなしはもろろんNG！洗濯は週末にまとめて一回で！洗濯にはお風呂の残り湯を！外食よりも自炊のほうがお得！御飯は一回に炊いて後はタッパーに入れて保存、食べる時レンジでチン。スーパードリンクなら閉店間際に。

「ちりも積もれば山となる」平日頃のちょっとした節約が重要です。一人暮らしの方だけでなく、皆が心がければ無駄なエネルギーを抑えることが出来ます。私も今一度見直そうと思います。

KOBORICHAN

## さかきた

### 第八十一回

## 「社会を明るくする運動」 長野県作文コンテスト入選

「くつをそろえるということ」



このほど行われた作文コンテストでは、たくさんの応募作品の中から、坂北小学校四年生、宮入麻帆さんの作文が入選しました。校長室に集まった関係者の方から賞状が手渡されると、麻帆さんは笑顔で受け取り、その賞状を私たちにを見せてくれました。

麻帆さんは今回の応募作文を思い出しながら、次のように話

をしてくれました。

「わたしの家の玄関には、『くつをそろえよう』というポスターがはってあります。でも、『くつをそろえる』ということがどういふことかわかりませんでした。

おばあちゃんに聞いてみると、『くつをそろえるってことは、心がそろうこと。きちんとそろえてあると礼儀正しい人だ』と思う。その人の性格がわかるんだよ。』と言っていました。わたしは、これからもきちんとくつをそろえて、お客さんや友だちが気もち良く家に入れるようにしたいと思いました。」

この話を聞いてとても心が明るくなるお話でした。入選おめでとうございます。

## 伝統食・郷土食を伝える

本年度保育園と筑北村食生活改善推進協議会が取り組んだものに「伝統食、郷土食を伝える」活動があります。

2月16日に坂北保育園で行われた「やしやうまつくり」は園児約30人と食生活改善推進協議会会員6名が参加しました。



上手だね！

やしやうまの由来の説明の後、スイカ、渦巻き、日の丸用に3種類の材料が用意されたテーブルに分かれてやしやうま作りがはじまりました。

色を組み合わせた後は細長く伸ばしていきます。なかなか伸びず奮闘する子、初めてとは思えないほど上手な手つきで伸ばしていく子。形が気になって横からのぞいている子。それぞれに出来上がりを楽しみに作っていました。



力をあわせて！

完成したやしやうまの他に会員の滝澤幸子さんが作った「辰のおとし子」と「アンパンマン」のやしやうまはその日のおやつになりました。園児の中には自宅に帰りお母さんに「おいしいから作って！」と催促する園児もいたようです。



日の丸完成！

春にはよもぎ団子、柏もち。石の戸の八月におやき。一月には稲花、繭玉と一緒に作った会長の柳澤政美さんは、「子供たちに伝えることで親世代にも伝わり、一緒に自宅で作る機会も生まれます。孫のような子供たちと一緒に触れ合うことができ、楽しい時間が過ごせました。」とのことでした。

## 「この地にくらして

東山地区の一ノ瀬正繁さんは、冬場の農閑期を利用してわら細工に取り組んでいます。道具も手作りです

### 今は何を作っていますか？

「猫つぐらを作っている。他に花器も作っている。今年は岩殿寺の火祭りのわらじも作っていた。」

### つぐらやわらじの作り方はどなたかに学んだのですか？



「実母から見ておぼえた。よく見ておくようにと縄編みの様子を見ていたのが基本となっ

ている。昔は一冬でかます五枚ね一枚をどの家でも作っていたからね。猫つぐらは自分で工夫しながら形も何度もやりなおし自分の形を作っていた。その土地で少しずつ形が違ったものがある。この猫つぐらの形が筑



### 道具も手作りです

北村の形になればよいと思っている。」

本格的に作り始めたのは五、六年前で主治医から「人のやってないようなことをやってみる」と言われたことが始めたきっかけだったとのこと。春になると野菜の苗でいっぱい



になる農業用ハウスには多くの作品が並んでいました。定番の屋根付き猫つぐらその他に、か

わいい猫の姿が見えるようにと猫かごとといったものもありました。



### 村内の酒蔵に飾られる杉玉も一ノ瀬さんの作品ですか？

「10年くらい前から作っていると思うよ。杉玉は丸くするのに寸法を測りながらすすめていった。新酒の完成を告げる大事なものだからね。」

### やしようま作りもやっていたことがありませんか？

「伊那市、白馬村、坂城町や県内いろんな所に行って指導した。教えるのもとても楽しかったです。」年男の一ノ瀬さん。ますますお元気で筑北村工芸名人の技を発揮していただけることでしょう。

## 館報編集後記

館報第38号をお届けします。大きな震災から一年がたちました。いまいちど振り返り今後のために何ができるかあらためて考える時だと思えます。

筑北村社会福祉協議会坂北支所に、元聖南中学校校長糊澤晴樹先生の「心の絆」という書があります。四年前先生が転勤される折に寄贈されたものです。



今、絆というものがあらためて大切にされる中、振り返り書を見る機会が増えています。今後も館報は身近にある心の絆、つながりをみなさんにお届けできればと思います。

SK



# ★★★★★★★★★★《新刊本紹介》★★★★★★★★★★

## 【一般書籍】

- ☆超思考 作：北野 武
- ★ほまれ 作：沢 穂希
- ☆泣いて笑って喧嘩して生きている 作：町田 康
- ★最期のときを見つめて 作：ターシャ・テューダー
- ☆寄りかからず 作：茨木 のり子
- ★大人の流儀 作：伊集院 静
- ☆黄泉から来た女 作：内田 康夫
- ★マスカレード・ホテル 作：東野 圭吾



## 【絵本】

- ☆まないたにりょうりをあげないこと 作：シゲタ サヤカ
- ★うみへいく ピン・ポン・バス 作：竹下 文子
- ☆ぼげちゃん 作：やぎ たみこ
- ★あっちゃんのはたけ 作：大西 ひろみ
- ☆ポケット 作：三浦 太郎
- ★わたしはひろがる 作：岸 武雄



## 【実用書】

- ☆何度でも作りたくなる「評判献立」 作：山本 麗子
- ★ぷるるんナチュラルスイーツ 作：藤井 恵
- ☆人生がときめく片づけの魔法 作：近藤 麻理恵
- ★宝石の写真図鑑 作：キャリー・ホール
- ☆子育てアドバイス 作：横峯 吉文
- ★「古い」を愉しめる生き方 作：三浦 朱門
- ☆なぜ、「これは」健康にいいのか？ 作：小林 弘幸

## 論語塾

### 《こども論語塾より》

そうし いわ くんし ぶん も とも かい とも も じん たす  
**曾子曰く『君子は文を以って友を会し、友を以って仁を輔く。』**

\*\*\*\*一緒にがんばる仲間を大切にする。\*\*\*\*

「仁」 思いやりの気持ちをもとにした広く優しい心や、強く正しい生き方。

「君子」 思いやりの気持ちがあり、正しい行いのできる人、理想の生き方を求め、それを実行している立派な人。

いろいろなことを真剣に学んでいると、同じように頑張っている友だちに出会うことができます。そんな仲間と一緒に理想の人になれたらいいですね。

## ～図書館からお知らせ～

花の便りと風雨の知らせに一喜一憂するようなこの頃、福寿草の蕾も顔を見せ、春を乗せた便りもたくさん届きは始めました。暖かな陽光は気分も新たになります。楽しい本を探しに図書館を訪ねてみては如何でしょうか。

### ☆☆☆ 下半期の貸出ランキングベスト3 ☆☆☆

#### 【一般書籍】

- |     |          |         |
|-----|----------|---------|
| 第1位 | 幻夜       | 著／東野 圭吾 |
| 第2位 | 不等辺三角形   | 著／内田 康夫 |
| 第3位 | レインツリーの国 | 著／有川 浩  |



#### 【絵本】

- |     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 第1位 | バーバパパのいえさがし | 作／アネット チゾン |
| 第2位 | 新電車大集合1616点 | 写真／広田 尚敬   |
| 第3位 | 100かいたてのいえ  | 作／いわい としお  |

#### 【本城図書室のコミック本は・・・】

- |     |                  |          |
|-----|------------------|----------|
| 第1位 | ONE PIECE        | 著／尾田 栄一郎 |
| 第2位 | NARUTO           | 著／岸本 斉史  |
| 第3位 | 家庭教師ヒットマンREBORN! | 著／天野 明   |

#### 【今話題の本・・・・・・・・映画化作品】

- |         |          |
|---------|----------|
| ○ テンペスト | 著／池上 永一  |
| ○ 麒麟の翼  | 著／東野 圭吾  |
| ○ 僕等がいた | 著／小畑 友紀  |
| ○ ベルセルク | 著／三浦 建太郎 |



・・・皆さんもお読みになりましたか？・・・

### 雑誌の貸出 〈貸出期間 5日間〉

- |          |          |              |
|----------|----------|--------------|
| ■ 暮らしの手帖 | ■ きょうの料理 | ■ すてきにハンドメイド |
| ■ 家の光    | ■ 山と溪谷   | ■ オレンジページ    |
- 他にもありますのでご利用ください。（筑北村図書館のみ）

・・・・・・・・・・・・・・・・おしらせ・・・・・・・・・・・・・・・・

5月に図書館(室)の本の点検を行う蔵書点検があります。その時、図書館(室)は休館となりますのでご協力をお願いいたします。